

オフィス AJTA 実施ルール

2016. 4

●基本ルール

- ・アジャタボール 99 個、アンカーボール 1 個の計 100 個のボールをバスケットに入れるタイムを競う
- ・アンカーボールはアジャタボールを 99 個入れてから投球する
- ・タイムはアンカーボールがアジャタバスケットに着底するまでとする
- ・競技実施の際の選手は 4~6 名 (1 チーム 10 名まで) とする

●準備

- ・土台 (A) の裏にあるボルトを調節し土台を床と平行にしたら、土台に直接アジャタバスケット (B) をジョイントし、高さ 1.13m とする
- ・土台の中心から 4m のところに長さ 4m のラインをひく
- ・スタートラインから後ろ 1.5m、土台から後ろ 1.5m はスペースをあける (安全配慮のため)

●スタンバイ

- ・アジャタボールは競技開始前、ラインの内側に自由に配置できる
- ・選手はラインの外で後ろ向きにスタンバイする

●投球開始

- ・スターターの合図によりライン外側から投球を開始する
- ・ボールの投げ方は、道具を使わなければ自由
- ・アジャタバスケットに入らなかったボールは、拾って持ち運ぶ
- ・拾って持ち運んだボールはどの選手が投球してもかまわない

●アンカーボール投球のルール

- ・アジャタボールが床等に残っていなければアンカーボールを投げるができる (アジャタボールが上縁に引っかかっても可)

○バスケットの上縁などに引っかかったアジャタボールについての考え方

- ・アンカーボールが手から離れた時点で競技は成立しているとみなすので、それ以降に上縁に引っかかっていたアジャタボールが落ちてきてもゴールは成立する。しかし、アンカーボールがはずれ、引っかかったアジャタボールが落ちた場合はアジャタボール投入後アンカーボールを投球する

●注意事項

- ・アンカーボールを先に入れると失格
- ・4m ライン内でのボールの投球は失格
- ・意図的に身体の一部に当ててボールをアジャタバスケットに入れると失格

●コート

